

みんなが活躍できる価値共創都市～充実した日々の実現に向けて～

埼玉県富士見市（2024年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	本市には鉄道駅が3駅（みずほ台・鶴瀬・ふじみ野）があり、池袋まで30分圏内と、その交通利便性からベッドタウンとして発展してきた。市の人口は、113,544人（2025年6月30日）であり、現在も微増傾向にある。 一方で、昼夜間人口比率は、75.4%（2020年10月1日）と県内ワーストであるとともに、地域経済の自立度を示す地域経済循環率も44.1%（2018年）で県内平均（75.2%）を下回っており、その解決のため「人」という資源を最大活用して好循環を生み出すための場を創り上げていく。	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	市で SDGsを進めていくには、行政だけでなく、様々なステークホルダーの参画が必要となる。少子高齢化の進行、人口減少の波が迫る中、その意義は、重要性を増している。イノベーションの創出や価値共創型事業の展開を図り、2030 年のあるべき姿を実現するため、ヒト、モノ、カネ、情報を集約するプラットフォームを創設する。		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 富士見市価値共創プラットフォーム『SDGsフジミライテラス』でモデル事業として以下の2事業の実施に向けて検討している。 ➤【テーマA】子どものための社会・職業体験 市内唯一の高校である富士見高校の生徒を対象に、プラットフォームのパートナー会員による、パネルディスカッションと個別ブースで職業経験等を伝える事業を検討（2025年12月実施予定） ➤【テーマB】自然公園を活用したふじみSDGsマルシェ 参加するだれもがSDGsについて学び、体験できるようプラットフォームのパートナー会員が個別ブースを出店し、自然公園を活用したSDGsマルシェを開催した。（2025年5月開催）	6. 取組成果 令和6年6月10日に施行した富士見市価値共創プラットフォーム『SDGsフジミライテラス』設置要綱によりパートナー会員を募集しており、6名の個人会員と23の企業会員（2025年8月1日）に参画いただき、事業の推進を進めている。 実施したテーマBのモデル事業においては、5名の個人会員、7の企業会員に加え、企業会員の紹介により3の企業会員を加えた10の企業会員で事業を実施し、経済面における相乗効果が生まれた。 また、事業自体は既に実施しているイベントと共同実施とし、市内の大型公園を活用したことで、イベント全体の来場者は5,000人を超えるなど、多くの人がSDGsに貢献できる機会を創出する機会となった。 また、SDGs貢献機会の提供という考えと、市の予算は活用せず参加者も利益を優先しないイベントとして、最低限の参加者負担で実施した。		
5. 取組推進の工夫 取組としては、市が主導するものではなく、プラットフォームのパートナー会員と同じ目線で共創するものであるが、立ち上げ当初の検討会では、市の判断待ちという雰囲気があった。また、情報共有手段を固定しなかったため、情報伝達がうまくいかなかったことから、統一するなど改善を行った。	7. 今後の展開策 2025年12月開催予定のテーマAについて6名の個人会員と9の企業会員に参加いただく予定で、継続して検討を進めている。 また、SDGsマルシェについては参加会員からふじみ野地域以外での開催に関する要望も出ていることから、2026年度の実施についても今後検討していく。		
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	株式会社宣通の企画により、SDGsの推進活動に取り組む自治体の紹介として埼玉新聞への掲載や、埼玉県が運用するSDGsパートナー登録者へ『SDGsフジミライテラス』の周知と、連絡のあった企業への事業紹介を実施した。		

SDGs未来都市等進捗評価シート（様式1）

2024年度選定

埼玉県富士見市

2025年8月

SDGs未来都市計画名

富士見市 SDGs 未来都市計画 みんなが活躍できる価値共創
都市～充実した日々の実現に向けて～

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

富士見市 SDGs 未来都市計画 みんなが活躍できる価値共創都市～充実した日々の実現に向けて～

(2) 2030年のあるべき姿

本市では、2021年から2040年までのまちづくりの指針となる富士見市第6次基本構想において、「自らの歩みで充実した日々を送ることができる未来」を、20年後の理想の“未来”として掲げ、『みんな笑顔☆ふじみ』を合言葉に歩みを進めている。このため、本市のSDGs未来都市計画では、「2030年のあるべき姿」を「人」の活力に満ちた、『みんな笑顔☆ふじみ』の実現と定め、3側面での取組を進めることで、「人」の活力が生まれ続ける好循環を生み出し、みんな（市民）の笑顔があふれ続ける活気あるまちづくりを実現する。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2024年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	地域経済循環率 【8.1,8.3,8.5,8.6,9.1,9.2,9.3,9.4】	2018年 44.1 %	2022年 48.2 %	2030年 54.9 %	38%
2	市民所得の合計額（給与所得+営業所得+農業所得） 【8.1,8.3,8.5,8.6,9.1,9.2,9.3,9.4】	2022年 173,190,285 千円	2024年 184,005,476 千円	2030年 206,264,694 千円	33%
3	納税義務者数（給与所得+営業所得+農業所得） 【8.1,8.3,8.5,8.6,10.1】	2022年 48,897 人	2024年 48,735 人	2030年 54,857 人	-3%
4	将来に夢や目標を持っている生徒の割合 【1.1,1.2,4.1,4.4,4.5,4.a】	2023年度 63.9 %	2024年度 64.9 %	2030年 80.9 %	6%
5	健康寿命※1（男性） 【3.3,3.4,8.1,8.5】	2021年 17.91 年	2022年 17.99 年	2030年 18.26 年	23%
6	健康寿命※1（女性） 【3.3,3.4,8.1,8.5】	2021年 20.35 年	2022年 20.55 年	2030年 20.70 年	57%
7	女性の労働力率 【5.4,5.5,8.1,8.5】	2022年 56.8 %	データなし	2030年 63.1 %	-
8	温室効果ガス総排出量削減割合 【7.2,7.3,7.a,11.1,11.6,12.4,12..5】	2013年度 - %	2024年 -15.9 %	2030年 -46 %	35%
9	資源化率【15.1,15.5】	2021年度 18.9 %	2023年度 17.9 %	2030年 21.1 %	-45%
10	市民1人1日あたりのごみ排出量 【11.6,12.4,12.5,12.8】	2021年度 705 g	2023年度 679 g	2030年 635 g	37%
11	市域の森林・緑地等の面積 【15.1,15.5】	2021年度 28.9 ha	2024年度 29.1 ha	2030年 28.9 ha	101%

※1：埼玉県では65歳に達した方が、介護保険制度の「要介護2以上」になるまでの期間を「健康寿命」として算出しています。

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

（5）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- 指標3：「納税義務者数（給与所得＋営業所得＋農業所得）」
・達成度が25%未満となった要因としては、定額減税により住民税の納税義務者数が減少したためである。定額減税の制度は令和6年度のみであったことから、令和7年度には納税義務者数は増加するものと見込んでいる。
- 指標4：「将来に夢や目標を持っている生徒の割合」
・本指標は令和5年度まで数値が悪化していたもので、令和6年度は改善したものの、大きな改善とはならなかった。ただし、これまでの事業実施による効果検証を踏まえて、令和7年度からの富士見市子ども計画を策定し取り組み内容の精査を行ったことから、今後の改善に努めていく。
- 指標5：「健康寿命（男性）」
・男性の健康寿命は、女性の健康寿命と合わせて延伸しているものの、女性に比べて延伸率が低くなっている。対応策として健康学習の充実、介護予防・フレイル予防等の活動支援を行い、更なる健康寿命の延伸を図る。
- 指標9：「資源化率」
・達成度が25%未満となった要因としては、ごみ全体の排出量は減少しているものの、資源化ごみの排出量減少が割合として大きく、資源化率は悪化となっている。継続してごみの分別収集に取り組むほか、資源化できないごみを更に削減していくよう努める。

SDGs未来都市等進捗評価シート（様式1）

2024年度

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2024年～2026年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2024年 実績	2026年 目標値	達成度 (%)
1	子どもや若者が夢に チャレンジできる環境 整備	自分には良いところがある と回答する生徒割合	2023年度 76.1 %	2024年度 81.2 %	2026年 85 %	57%
2	子どもや若者が夢に チャレンジできる環境 整備	子ども・若者の居場所 活動回数	2022年度延べ 562 回	2023年度延べ 636 回	2026年延べ 624 回	119%
3	高齢者の活躍促進 (充実のセカンドライフ)	高齢者の社会（地域） 活動参加率	2022年 56.6 %	データなし	2026年 75.0 %	-
4	多様な働き方の実現 (多様なライフスタイル)	保育所の待機児童数	2023 年4月 18 人	2024 年4月 8 人	2026年 0 人	56%
5	多様な働き方の実現 (多様なライフスタイル)	放課後児童クラブの待 機児童数	2023 年4月 0 人	2024 年4月 0 人	2026年 0 人	100%
6	企業誘致や市内産 業基盤の強化による 地域経済の強化	法人市民税額（現年 分）	2022年 577,752 千円	2024年 599,284 千円	2026年 716,589 千円	16%

SDGs未来都市等進捗評価シート（様式1）

2024年度

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2024年～2026年

No	取組名	指標名	当初値	2024年実績	2026年目標値	達成度(%)
7	市民総活躍による生産額の向上	市民所得の合計額 (給与所得+営業所得+農業所得)	2022年 173,190,285 千円	2024年 184,005,476 千円	2026年 189,383,962 千円	67%
8	創業・経営支援	創業相談窓口相談件数	2022年度 23 件	2023年度 15 件	2026年度 30 件	-114%
9	再生可能エネルギーの活用推進	再生可能エネルギー導入量	2020年度 11,766 kw	2023年度 13,806 kw	2026年度 54,917 kw	5%
10	資源の有効活用	市民1人1日あたりのごみ排出量	2021年度 705 g	2023年度 679 g	2026年度 672 g	79%
11	豊かな自然環境の維持・活用	市域の森林・緑地等の面積	2021年度 28.9 ha	2024年度 29.1 ha	2026年度 28.9 ha	101%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

令和6年6月10日に施行した富士見市価値共創プラットフォーム『SDGs フジミライテラス』設置要綱によりパートナー会員を募集しており、6名の個人会員と21の企業会員（令和6年度末）に参画いただき、事業の推進を進めている。令和7年度はパートナー会員と連携した持続可能なモデル事業として、検討を進めてきた内容が実現できたものであり、会員同士のつながりも強化されたことから、今後の展開についても会員同士で事業検討を始める気運が高まるなど、自走可能な事業の実現に向けた体制の構築に継続して取り組む。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2024年～2026年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

●指標6：「法人市民税額（現年分）」

・景気の回復により法人市民税額は増加しているものの、大きな増額とはならなかったことから、達成度が25%未満となった。対応策として、富士見上南畑地区産業団地の整備や、富士見中小企業チャレンジ支援事業等の推進に取り組み、法人市民税の増額を図る。

●指標8：「創業相談窓口相談件数」

・創業相談として、専門家による予約制の窓口体制を整備しているが、全国的な傾向として創業者の数が減少しており、相談件数が伸びていない。対応策として関係機関と連携した創業パネル展や創業セミナーの開催を通じて、創業に関する支援策をPRするなど、創業機運の向上に努める。

●指標9：「再生可能エネルギー導入量」

・太陽光発電の10kW未満の設備については達成度が25%以上と導入が推進できているものの、10kW以上の設備については、費用面等の影響もあり導入が限定的となったため達成度が25%を下回ったものである。対応策として再生可能エネルギー等の普及促進に向けた補助を実施するなど導入量の増加に努める。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・2030年のあるべき姿として、価値共創都市を目指している。指標に掲げたもので、未達成分野は、現状の経済の中では、すぐに改善されないこともあり、じっくりと取り組む必要がある。

・指標4の将来に夢と目標を持てる生徒の割合に関しては、社会全般のSNSやニュースの影響も大きいですが、身近な家族や学校内での肯定的な対話や、楽しい時間を作ることも、大きく影響することから、足元の生活環境の改善が急がれる。

・指標8もすぐには改善しないが、全国事例を踏まえて果敢に調整してほしい。

・指標(1)9再生可能エネルギー導入に関しては、単に補助制度を導入する(1)(3)進捗状況課題)だけではなく、地域の特性に即した導入戦略の策定が必要であると思われる。

・プラットフォームに個人会員を設定するという仕組みは興味深いですが、個人会員にはどのような役割を期待するのか、運営していくうえでどのような課題があるのかといった点に関して整理し、共有することが期待される。